山都町立矢部小学校　学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP　令和６年１０月１５日（火）　第２５号
２次元コード←カラー閲覧できます　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

校外学習ラッシュの一週間

先週は、連日「どこかの学年が出かけている」という校外ラッシュ週間でした。特に低学年では、短時間で静かに集合する練習、マナー面の指導などきめ細かに準備をしてきました。

S一年主任は、事あるごとに校長を引っ張り出す（笑・でもありがたいことです）の他で、出発前にも挨拶を求められました。私は①勝手な行動をしない②事故に巻き込まれず元気に帰ってくる、二点だけ話しました。旅行先で、勝手な行動をしようとする子がいたそうで「校長先生から言われたよね？」の一言でとどめることができたそうです。校長挨拶も、たまには（笑）役にたつようです。

三年生は帰りに渋滞に巻き込まれるハプニングに遭いましたが、想定外の事態に対してどう対処するか（詳しくは後日、三年学級通信で触れられるでしょう）、これも大切な学習です。

「振り返り」の大切さ　～八朔祭実行委員会反省会参加・期末面談実施～

１０日の夕方、八朔祭実行委員会反省会に出席しました。主な議題は実績報告や反省事項についてでした。意見交換の場面では、激しいやりとりになる一幕もありました。八朔祭への熱い思いがあるからこそだと感じました。

校内では、先週から先生方との期末面談を始めました。具体的には、上期における各自の教育実践の振り返りを三者（校長・教頭・先生）で行っています。先生方の話を聴いていると、日々悩みながら、いろんな手立てを考え、取り組んでいることがわかります。毎日１回は全クラスを観て回るよう心がけていますが、限られた時間では見えない部分もあります。中には「こんなことまでやっていたのか！」と初めて知ることもあります。常々、私は本校の先生方は「誇れる職員集団」だと思っています。今回の面談を契機として、下期の各先生の教育実践がさらに進化するようにしていきたいと思います。「実りの２学期」にするぞー！！

矢部抄

先日、以前勤務していた中学校時代の生徒の訃報が入った。二十代後半という若さである▼通夜の日は夕方に所用が入っていたので会場に着いたのは少し遅い時間になった。会場では、かつての同僚や故人と同学年の生徒と再会した。こんな機会で再会するのは複雑な気持ちである▼これまで十数回ほど生徒の葬儀に参列している。毎回つらい気持ちで参列し、柩に眠る故人の安らかな顔をみながら「どうして年上のオレより早く死ぬのか？順番が違うだろ！」と無念の思いを伝える▼今回は、同僚や生徒たちと久しぶりに会う機会を故人がつくってくれた形となった。再会は成人式のとき以来となる。一番ヤンチャだった子が敬語で話すようになっていたし、今回訃報の連絡を回してくれたのも生徒指導で深く関わった子だ。生徒たちに、自身の命を大切にすることを伝え、会場を後にした。